

議事録

1. 件名: 「令和4年度制振装置の機能確認に関する検討」に係る技術検討会(第1回)
2. 日時: 令和4年12月23日(金) 10:00~11:15
3. 場所: 原子力規制庁 16階会議室(Web)

4. 出席者: 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
田岡主任技術研究調査官、高松技術参与

東芝エネルギーシステムズ株式会社
原子力プラント設計部 エキスパート 他2名
原子力技術部 シニアエキスパート

学校法人東京都市大学 総合理工学研究科 教授1名
学校法人東京電機大学 理工学部 教授1名 工学部 准教授1名

5. 要旨:

長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討の一環として、既設プラントに新たに導入された設備の耐震性を把握するための安全研究を令和3年度から令和6年度にかけて計画し、実施している。

当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和4年度制振装置の機能確認に関する検討」事業を実施している。

今回は、当事業について学識経験者から意見を伺う技術検討会を実施した。

内容は下記のとおり。

- ① 東芝エネルギーシステムズ株式会社より、本事業について、実施計画と事業の進捗として制振装置に関する調査状況を説明した。
- ② ①の内容に関連して、規制庁より学識経験者に対して、調査の目的、調査結果の活用について説明した。
- ③ 学識経験者から、調査の視点及び調査結果の整理に際しての留意点についてコメントがあった。

④ 次回の技術検討会の開催を令和 5 年 3 月初旬で調整することとした。

6. その他
特になし